



第46期 クラブスローガン

奉仕で結ぼう 友愛の絆



はばたけ長野の空へ -小学生による落語の一席-



3Zコミュニケーションボーリング大会

長野中央ライオンズクラブ

URL <http://nagano-chuo-lions.logos.jp>

第46期 退任のご挨拶



第46期 会長 L.渡辺 昌祺

過日6月の例会運営を検討する委員会が開催され、期末を目前にした実感を覚えるこの頃です。第46期の会長をお引き受けし、準備を重ねながらスタートに備えた頃の多忙な毎日が懐かしく思い出されます。厳しい経済情勢と地域社会環境の変化に戸惑いながらのクラブ運営でしたが、会員各位のご協力をいただきながら充実した1年を過ごすことが出来ました。第18回中学生サッカー大会を始め、長野市民ふれあい祭りでのフードライブ事業、山王小学校の生徒による「落語寄席」など、会員の総力を挙げての団結の証を残す事が出来ました。結成以来45年を経過したクラブの歴史と伝統を守る事の重要さを、改めて実感しながらのクラブ運営でした。「改革」と「歴史の踏襲」を合い入れてこそクラブ結成50周年に向けての発展が有ると思えます。当クラブの発展に尽くされた先輩ライオンと、情熱と実行力に富んだ若いライオンが意思の疎通を図り、融和を以って団結する事の大切さを実感させていただいた1年でした。ご支援・ご協力をいただいた全会員に感謝とお礼を申し上げ、退任のご挨拶と致します。



第46期 幹事 L.原田 造道

まずは、第46期渡辺昌祺会長の元、皆様のご協力とご支援により幹事の大役を経験出来た事に対しまして深く御礼申し上げます。思い起こせば一年前の今頃は只々その責任の重さと、不安で一杯でした。しかし、渡辺会長の的確な指示、経験豊富な諸先輩方のそれは言葉では表せない程の力強いご協力、事務局の心強いサポートを頂き、至らない所ばかりでしたが、やっと今日までたどり着いた感じがします。その中、最も感じたのが「同じクラブ仲間、さすが頼りになる」でした。クラブ行事のお手伝いを依頼すると、本当に心良い御返答、御協力を頂き、感謝・感謝の連続でした。今後はこの貴重な経験を元に、次期以降のクラブ運営に協力する事をお約束申しあげ、退任のあいさつとします。本当にありがとうございました。



第46期 会計 L.高田 茂

渡辺会長のスローガン【奉仕で結ぼう友愛の絆】のもとで、恒例の中学生サッカー大会をはじめとして、スタートを切った46期でしたが、あと1ヶ月で大過なく会計の役目をはたす事が出来ました。これも皆様のご支援の賜物と感謝しているところであります。今期3役の中の会計の役割を果たしてまいりましたが、45周年記念予算の増加の繰り越し金があり、今期は厳しい予算でありましたが、会長、幹事等の指導により無事に事業に任務を果たすことができました。又いろいろなクラブ活動と、他クラブとの会合等にも参加させていただき、ライオンズを学ぶことができました。今後のライオンズクラブ活動の中で参考にさせていただきます。この1年、皆様のご指導によりクラブ運営がスムーズにできた事を感謝し挨拶とします。

7年間お疲れさまでした



第一副会長 L.野本 勉

会員各位のご指導とご協力により、第一副会長の任を大過なく努めることが出来ましたことに、改めて深く感謝申し上げます。

所管の『運営委員会』の各委員長はじめ委員の皆様には大変なお力添えを戴きました。

特別会費を縮減して、年会費を圧縮し、バランスの良い予算を組み立てました。また出席率の向上を図るため、楽しい魅力ある例会計画を企画しました。厳正な出席状況の把握に努め、会員の増強と維持を図り、2名の新規加入を果たしました。全会員の情報共有を目指し、読み易い親しみ易い会報の編集に努め、4回発行致しました。何れも大きな成果を上げる事が出来ました。各位の健闘を讃えると共に深甚なる敬意を表します。

今年度は東日本と長野県北部の大震災、更には原発事故と風評被害等の未曾有の災害に見舞われ、国の盛衰にかかわる状況下にあります。かかる時ライオンズはいかにあるべきか各自がもう一度問いなおすではありませんか。

被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興と、元気な日本の再生を願ってやみません。

一年間本当に有難うございました。



第二副会長 L.野田 正廣

今期は第二副会長という大任をおおせつかり大変緊張しましたが会長の渡辺昌祺ライオンに助けをいただきながら無事今日を迎える事が出来ました。

第二副会長は事業委員会の統括・指導という事ですが市民奉仕・YCE・四献の各委員長ライオンが適切に対応されスムーズに事業を進めていただきました。

「19回中学生サッカー大会」は暑い夏の陽を浴びながら熱闘の大会でした。

「フード・ドライブ」はふれあい広場を利用した初めての試みでしたが、フード・ドライブ事業の市民への告知・啓蒙になったと思います。またお手伝いいただいたガールスカウトの皆様とは新しい連携が生まれ、これからの事業展開が楽しみです。

「献血」は2回の東急前で街頭献血をおこない成果をおさめました。

「小学生の落語会」は青少年育成という立場で落語を習っている生徒さんに発表の場を提供しようという事でホテル国際21で開き、大震災直後にもかかわらず多くの市民に楽しんでいただけました。この一年皆様のご協力で何とか職を全うできそうでありがたく感謝いたします。



第三副会長 L.村上 義徳

特別委員会担当の副会長として指導力育成、友好親善・接待・大会委員会・会員維持委員会の3委員会と共に会長方針を受けて一年間クラブ活動に取り組んでまいりました。指導力育成委員会では新入会員セミナーを2回開催しました。講師に宮下し、鹿熊し、にお願いして、クラブの歴史、クラブの在り方を話していただきました。熱心にメモを取っていた、新入会員も多数おり有意義な新入会員セミナーを開催することが出来たと思います。来期も会員セミナーの継続をお願いしたいと思います。

友好親善・大会委員会主催の上越中央しクラブとの、合同例会は太陽が海に沈む瞬間、海面が真っ赤に染まり、幻想的な中での例会になり印象に残る例会になりました。更に会員相互の友好を深める事が出来たと思います。

3月11日に起こった東日本大震災、長野県北部地方の震災で多くの建物や田畑が被害を受けました。そんな中でも被災された皆さんが、前向きに生きている姿に感動します。震災の影響で県内企業でも厳しい経済状況になると覚悟しなくてはなりません。

これからライオンズクラブのモットー〔We Serve〕の在り方が問われる時代になって来ると思います。

最後になりますが、3委員会の委員長さんから、何かと教えていただいた一年間でした。ありがとうございました。

◆ 2月第1例会 「音楽に親しむ例会」

2月10日（木）18：30

会員・MERL委員長 L.関谷 登



クラシック演奏者をお招きすることが多い中、今回は少し施行を変え、SAX奏者ヘンリー緑川率いる『リズムジョウカーズ』を迎え、映画音楽・JAZZ・ポピュラー等々の演奏と、紅一点（MAR）さんの楽しい進行で、「音楽に親しむ例会」を開催いたしました。

いかがでしたか？音楽に親しんで頂けましたでしょうか？

今、メディア上では、東日本大震災の被災地に駆けつけた、多くの音楽家に、音楽をとおして、勇気を頂いている被災者や、復興を支援されている方々の光景を多く目にします。

このような不思議な力を持つ音楽に、次回「もっと親しむ例会」の開催を希望し、簡単では有りますが、例会報告とさせていただきます。



◆ 2月第2例会 「3Zコミュニケーションボーリング大会」

2月17日（木）

出席委員長 L.小林 博



恒例の「第3Zコミュニケーションボーリング大会」は2月17日当クラブホストによりピカデリーボウリングで6クラブ48名の参加で盛大に開催されました。開催当日は午後2時30分から振替例会が行われました。受付は3時30分から開始しましたが多数の来場で駐車場が満車になり西隣の駐車場をお借り対応したハブニングがありました。開会は原田幹事の進行で野田副会長の力強い言葉で幕があき、小口大会委員長の競技説明があり引き続き上野ZCの御礼と歓迎挨拶と始球式16レーンでスタートしました。ゲームは2ゲームの合計得点で競い優

勝水島慎一L、準優勝斉藤栄詞L（当クラブ）3位は徳竹良彦Lが見事上位入賞し競技を楽しめました。団体戦の順位は1位白樺LC 2位中央LC 3位篠ノ井LC 4位信州新町LC 5位みすずLC 6位りんどうLCと各選手が頑張りました。表彰式と懇親会は渡辺会長挨拶と上野ZCの各入賞者へのフルーツ盛合せの表彰プレゼントでは多くの拍手で盛り上がりました。懇親会はソフトドリンク等と寿司盛合せをいただきながらゲーム内容の話題でにぎわい、野本副会長の閉会の挨拶で楽しいボーリング大会が終了致しました。



〔3.11の教訓～大震災・津波・原発事故を受けて～〕

◆ 4月第一例会 「防災を考える例会」

4月14日（土）18：30

視聴覚障がい者福祉・四献推進 L.海野 正信



お花見例会の予定でしたが、3.11東日本及び3.12長野北部・栄村大震災を受けまして、変更されました。栄村や、岩手県地方に12日には約半数の消防団員の方が駆けつけ、不明者の救助に奔走され、この1カ月以上多忙を極められている最中に、長野市消防局の警防課長の越正至様からご講義をいただきました。被災地の無残な写真の資料を解説していただきながら、大地震は「忘れたころにやってくる」（関東大震災の教訓）のではなく「いつでもどこにでも起こりうる」こと。その防災のために、日ごろから十全な危機意識と備え、食料・水・ラジオ・電池などが一定期間分必要なことなどをお教えいただきました。

現在は震災から2ヶ月半以上経過し、最初のころのガソリンや食料などの品不足の懸念からの買いだめ騒動や自粛ムードからは解放され、当地の生産物への風評被害が残存中である状況です。特に福島原発の現状はいまだ予断を許さず、何十年単位でチェルノブイリ並の危険度を内包しています。いまこそ我々日本人とその社会は、戦後復興の基本となっていた科学技術信仰や、経済効率主義や、自然への畏敬の念の喪失を見直し、自然と社会と人間が一体となるべき生命中心の文明社会を創造する時代に入ってきたと思われまふ。2万5千人近い死者・行方不明者と11万人の避難者は単なる数ではなく、その数だけの人生や物語があり、その怒りと悲しみと無念さを後世に伝えていかなければなりません。

頑張れない被災者の頭上を素通りしている「頑張ろう！日本」という高飛車なスローガンではなく、加害者でもある全国民それぞれが自らの傲慢な生き方の足元を見つめ直し、「殺し合い・生きにくい社会」を根本から変革し、「支え合い、生きやすい社会」と人間らしさを取り戻すこと。弱い人々の側に立ち、寄り添うこと。それが今回の防災を考える講演会からいただいた当ライオンズへのメッセージではないでしょうか。私自身が、他者の生命との繋がり、それがあつての社会や人生であることを再確認するための大事な例会になれば有り難いと思います。



◆ 4月第二例会 「健康例会」

4月28日（木）18：30

指導力育成・会則付則



「長寿の秘訣」を坂原宏Lに講演していただきました。

◆ 5月第一例会 「会員スピーチ例会」(私の仕事)

5月12日(木) 18:30

計画・財務委員長 L.竹内 邦雄



今年度の例会計画の中で、会員スピーチ例会を2回(①私の趣味、②私の仕事)企画しました。比較的入会歴の新しい方々に自分の趣味や仕事の話をしてもらい、その方の人となりや環境を理解してもらうことが親密感を深め、この地域で仕事をしていく上での一助になればとの思いから計画しました。

└倉田富雄一(自動車業界や車修理の一般論) 高い技術力と誠実なお人柄から超繁忙の中時間を割いて頂き、感謝感謝です。

└鹿住みよ子一(住友生命のネットワークでビジネスを強力に後押しするサポートプロ

グラム) 本年3月入会にも関わらず、快く引き受け、堂々とスピーチされ有難うございました。

└山内信広一(GIS・位置情報をキーにして、基盤的地図データに統計データ等に対応づけ重ね合わせて表示し、災害対策等総合的な対策を考えられるシステム) 父親から社長を引き継ぎ、立派に運営されてお見事です。



3名のスピーカー、お疲れ様でした。

◆ 5月第二例会 「講演例会」

5月26日(木) 18:30

PR・情報・記録保存・会報・IT委員長 L.三上 浩史



5月の第二例会で、『講演例会』が開催されました。今回、講演例会の講師を、L.岡田典雄の奥様の岡田範子様をお願いしました。例会でもプロフィールを説明したのですが、慣れない司会のため、あまりうまく伝わらなかったもので、もう一度紹介します。

きっかけは、三人目のご息の入園を機に始められ、今年で、33年目になるそうです。今回、個展を開催され、場所は画廊『カンヴァス城山』で、行い、5月15日から26日までの12日間行われました。

講演を聞いて、個展を開催するのは、並大抵ではできないと感じました。個展とな

ると、限られた時間内で出品作を仕上げ、様々なことを考えて当日を迎えるので、大変だったと思われます。その大変な時を終えられたばかりの時に、講演の依頼を受けてくださり、とても感謝いたします。ありがとうございました。

しかし、趣味なら、時間に追われることもなく、空いた時間を利用しながら、ストレス発散になると思うので、今回の講演をきっかけに、絵画の趣味を持たれる方がいたら、うれしく思います。皆さん、如何ですか？



アクティビティ・フォトレポート

はばたけ長野の空へ

— 小学生による落語の一席 —



新入会員のご紹介コーナー



L.鹿住 みよ子

住友生命保険相互会社

生年月日 1951年12月21日

スポンサー L.渋谷 一男

所属委員会 出席委員会

第57回地区年次大会 平成23年5月21日



義 援 金

去る3月11日の東日本大震災に対して姉妹提携を結んでいる仙台中央ライオンズの窮状を救う為に、義援金の拠出をお願いいたしましたが、4月26日仙台へ出向いて鈴木一夫会長に義援金をお渡しいたしました。会員各位におかれましては早急なる対応をいただきありがとうございました。

ドネーション・アラカルト

■ 1月27日

L. 大前 憲治
昨年1年ご迷惑お掛けいたしました。
10,000円
合計 10,000円

■ 2月10日

L. 岡田 典雄
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 久保 藤平
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 小林 久次郎
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 清水 基弘
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 関谷 登
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 中城 秀樹
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 野田 正廣
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 宮川 英幸
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 村上 義徳
南小河原の区長に就任しました大変ですが一年間がんばります。
5,000円

L. 矢澤 廣子
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 吉野 荘英
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円
合計 25,000円

■ 2月17日

L. 上野 仁
フィリピン医療奉仕行きます。
10,000円

L. 倉田 富雄
ボウリング大会3位になりました。
5,000円

L. 斉藤 栄綱
フィリピン医療奉仕行きます。ボウリング大会準優勝いたしました。
8,000円

L. 坂原 宏
フィリピン医療奉仕行きます。
5,000円

L. 原田 浩道
フィリピン医療奉仕行きます。
5,000円

L. 三上 浩史
フィリピン医療奉仕行きます。
5,000円

L. 若林 秀幸
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円
合計 40,000円

■ 3月12日

L. 小野 常三
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 鹿熊 彰

誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 小林 昭夫
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 52,000円
合計 56,000円

■ 3月24日

L. 内田 秀樹
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 返町 ともし
はばたけ長野の空へ1100回記念例会成功有難うございます。四季光彩グットラッキーです。 10,000円

L. 竹内 伊吉
スピーチ例会無事できました。有難うございました。 2,000円

L. 金守 秀夫
スピーチ例会無事できました。有難うございました。 2,000円
合計 16,000円

■ 4月14日

L. 小口 範夫
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 3,000円

L. 坂原 宏
ドネーション 5,000円

L. 塚田 勝彦
お隣様で特養施設20床増床できました。関係各位御礼申し上げます。
20,000円

L. 和田 亜弥子
前回スピーチ例会の御礼 2,000円
合計 30,000円

■ 4月28日

L. 坂原 宏
スピーチ例会「長寿の秘訣」御清聴有難うございました。 10,000円

L. 塚田 勝彦
4月ITCゴルフコンペ優勝、趣味の会ゴルフコンペ優勝してしまいました。有難うございます。
10,000円

合計 20,000円

■ 5月12日

L. 安藤 邦雄
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。本年72歳になりました。 2,000円

L. 小口 範夫
趣味の会ゴルフお祝い 5,000円

L. 倉田 富雄
スピーチ例会ご清聴ありがとうございました。 2,000円

L. 小林 一彦
①初孫誕生14代目女子親子三代同居 ②ららぽーと横浜大久保西の茶屋FCが開店致しました。
10,000円

L. 竹内 邦雄
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 中城 秀樹
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 鹿住 みよ子
スピーチ例会ご清聴ありがとうございました。 2,000円

L. 山内 信広

スピーチ例会ご清聴ありがとうございました。 2,000円
合計 27,000円

■ 5月26日

L. 岡田 典雄
岡田範子夫人講演例会の御礼「絵画について」 10,000円

L. 渋谷 一男
ガバナースベシャルアワード(MJF15回目)表彰受賞 2,000円

L. 長尾 喜三郎
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 野本 勉
誕生お祝いお花プレゼント戴き有難うございます。 2,000円

L. 渡辺 昌祺
FAIN他ライオンズ会議の為遅れました。 1,000円
合計 17,000円

編集後記

編集後記を書くにあたって、3月11、12日の東日本大震災に触れないわけにはいかない。震災当初は「規律正しい日本人」という報道が目立っていたが、震災から2ヶ月、美徳以外の報道が目立つようになったのは気のせいだろうか？マイコンの不足は自動車業界だけではなく、全てのマイコン制御の工業製品に影響を与えている。にもかかわらず殆どの業界は株価への影響を懸念してそれを公にはしていない。それは仕方がないと考える方も多いかと思うが、その最たる例が福島原発ではないだろうか？1号機だけでなく、2号機、3号機もメルトダウンしていた事が明らかになったのは最近である。我々一人一人が美徳にだけ目を向けるのではなく反する部分も注視しなければいけない時がきているのではないだろうか？次代に残す資産が「放射能に汚染された土地」と「莫大な借金」だけではあまりにお粗末である。

編集委員 L. 山内信広

〔会報第273号〕

2011年6月16日

長野中央ライオンズクラブ

PR・会報委員長

L. 三上 浩史

長野市妻科426-1

長野県建築士会館6階

☎ 026 (235) 3988

http://nagano-chuo-lions.logos.jp